

2016年1月27日

北海道知事
高橋 はるみ 様

日本共産党北海道委員会
委員長 青山 慶二
日本共産党北海道議会議員団
団長 真下 紀子

2016年度北海道予算編成及び補正予算に関する重点要望

第二次安倍政権発足から3年、一部の大企業が潤う一方で、非正規雇用率が4割を超えた北海道の労働者の現金給与額は減少し、景気は低迷したまま、アベノミクスの波及効果は見当たりません。賃金の引き上げが消費者物価の上昇や消費税増税に追いつかず、生活は困窮し、少子化や若年者の流出にも歯止めがかかっていません。経済の中心を担う第一次産業や中小企業の継承にも困難が生じています。労働者だけでなく、子どもや高齢者の貧困も顕在化しています。

そのため国は、2016年度予算編成において経済対策を重点としながらも、子育て支援・高齢者福祉をかかげ、地方の疲弊に対する補正予算などの対策をとらざるを得ない事態となっています。しかしながら、政府が「1億総活躍社会」なるものを持ち出したものの、景気回復は円安を背景にした外需依存であり、来年4月の消費税増税や法人税減税はいっそう格差を拡大させるものです。拡大された格差の是正に背を向けていると言わざるを得ません。それゆえ、いのちとくらしを最優先とする予算編成が北海道に強く求められています。

人口が増加している市町村では「世帯主の正規雇用率が高くなっていることが多く、良質で安定した雇用環境の実現を目指すことが重要」「住環境の整備、子育て支援策の充実が重要」と指摘されています。こうしたことに学び、道において道民福祉の充実に主眼を置き、内需主導で下支えできる多様な産業・経済構造への転換を支援する予算編成を求めるものです。

昨年、安倍政権は戦争法（安全保障関連法）を強行成立させました。米国とともに戦争への道に進み、北海道の自衛隊員が戦闘地域へ派兵され犠牲となる懸念が高まっている中、地方自治を高く掲げ、道民のいのちを守るため戦争法を発動させない立場に立つことを強く求めます。

同時に「原発回帰」の圧力が迫ってくるものと考えられます。4月からの電力自由化を見据え、原発に依存せず再生可能エネルギーの飛躍的導入をはかり、温室効果ガスも放射能も排出しないエネルギー基地・北海道へと進むことを強く求めるものです。

11月に提出した2016年度予算編成への要望を補強するとともに、補正予算等に関して、以下要望いたします。

記

子どもの貧困対策と子育て・教育、地域医療と介護・福祉の充実を

1. 昨年4月から年少扶養控除の「みなし適用」が廃止され、多子世帯ほど保育料が跳ね上がっている。市町村によっては、激変緩和措置をとっているところもあるが、道として第2子の保育料2分の1軽減、第3子無料化を行い、第1子についても保育料軽減をおこなうこと。
2. 子ども医療費無料化を入院・通院ともに中学卒業まで拡大すること。
3. 段階的に30人以下学級に向かうために教員を増員するとともに、特段の措置をとり免許外教員を減らすこと。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの配置の充実させること。国に求めるのみではなく、貧困が深刻な本道において、道独自での支援をすること。
4. 標茶高校に養護学校(分校)を併設するなど特別支援学校の適正配置を進めること。地域の声に背く高等学校の統廃合・学級減の方向性を見直すこと。

5. 私立高校の実質授業料無償化の対象（年収で概ね 250 万円以下）を拡大すること。
6. 長野県等が実施している返済義務のない奨学金を創設すること。
7. 2 次医療圏の地域医療構想調整会議が行われているが、その多くが、2 月ごろに構想案をまとめると考えられる。すでに、北海道の提案を受け入れて、病床削減を打ち出したところもある。緊急に地域ごとの診療科目別の医療要求の詳細を把握し、必要な医療需要を満たすための地域医療構想を策定するよう提案すること。
8. とくに医療が不足している産科、小児科をはじめ、医師不足の解消に向けて具体策の策定を急ぐこと。
9. 後期高齢者医療制度について、保険料値上げを抑止する特別措置をとること。国に対しては、低所得者の保険料軽減の「特例」措置の維持を求めること。
10. 介護保険への国庫負担増額をもとめ、高すぎる介護保険料に歯止めをかけること。福祉・介護職員需給見通しを策定し、人材確保を図ること。介護事業所の経営安定、介護職員の処遇改善予算を確保すること。認知症への理解の促進をはかり、本人と家族支援などの対策を強めること。
11. 障がい者差別解消法に定められた「不当な取扱いの禁止」「合理的配慮の提供」が、独立行政法人となっている札幌大や道総研や、道の指定管理施設等を含む道の関係機関すべてで適切に実施されるようにすること。

良質で安定した雇用環境の充実を

1. 地方創生新型交付金等を活用して、地域に安心して住み続けられるために、正社員化を抜本的に強めること。とりわけ、建設・観光などの非正規から正規化・処遇改善等への対策促進するための予算確保を行うこと。
2. 道庁・道教委で働く非正規職員や、委託契約・指定管理など公務労働の正規雇用化・安定した雇用への転換を図ること。私立高校や幼稚園の教諭、保育士、介護職員等の雇用実態を調査し、処遇改善を図ること。

TPP 締結に反対し、持続可能な産業・経済構造へ

1. 道内市町村長の約 8 割が TPP 反対と表明していることを重く受け止め、北海道知事として道民合意のない TPP にキッパリ反対を表明すること。
2. TPP 参加による食料自給率の急激な落ち込みは、当事者はもとより専門家からも繰り返し指摘されてきた。食糧基地としての本道の役割に鑑み、食料自給率を下げずに上昇させていく手立てを明確な目標とビジョンを持って示すこと。
3. 若者が意欲を持って農林水産業への道を志せるように、担い手支援を強化すること。特に、農業分野では、規模の大小にかかわらず多様な経営形態を道として支援すること。
4. 地産地消の促進を強め、学校給食等での道産品のさらなる利用を進めること。
5. 魚種の変化に対応した加工や、販路拡大についての支援を抜本的に強めること。
6. 海外観光客からの外需頼み一辺倒の経済政策から、道内需要を向上させる抜本的な転換を行うこと。
7. これまで減額され続けてきた中小企業支援予算を思い切って増額し、小規模企業が事業承継を安定的に行えるようするなど、中小企業支援を抜本的に強めること。

どこにいても安心して暮らせる地方交通と公共物の整備、地域の再生を

1. JR北海道に対して、トンネルと橋りょう等の設備の総点検と安全対策の徹底を求めること。ローカル線の廃線、減便、駅の廃止と無人化等に反対し、道民の移動の権利を守ること。
2. 日高線の1日も早い復旧に全力を尽くすこと。同線の復旧と鉄道施設の維持・更新に関しては、公益企業であるJR北海道と国の責任を明確にし、道路財源の活用等も検討すること。
3. いさりび鉄道の安全運行に万全を期すこと。
4. 不要不急の公共事業を見直し、橋梁やトンネルの長寿命化、上下水道などライフラインの耐震化・老朽化対策、道営住宅等の整備等に予算をシフトすること。ピーク時の45%にまで削減された道の道路・河川等の維持管理費を復元すること。
5. 災害拠点施設の非常用電源の整備、救急病院および人工透析医療機関等の水道の耐震化を優先的に促進すること。
6. 大雨・洪水・土砂災害、暴風雪・雪崩、高波・高潮、火山等あらゆる災害の対策を強化すること。スピード感を持って土砂災害の「基礎調査」を進め、土砂災害警戒区域等の指定の促進を図ること。
7. 非正規で働く30代男性の既婚率はわずか5.6%（正規雇用者は29.3%）にとどまる。北海道で育った若者が道内にとどまり、また、道外からの移住者の定住につながるように、地域の中核企業・中小企業の正規雇用化への支援や、第一次産業等の「担い手」支援等を強力に推進すること。
8. 地域で子どもを産み育てられるように、子育て・教育支援を強めること。
9. コミュニティバス等の公共交通、灯油等の必需品の配送や買い物支援などのサービスを確保すること。
10. 「小さな拠点」の形成(生活集落圏の維持)にあたっては、住民を主体とした地域の取り組みを応援すること。国の補正予算、新年度予算に盛り込まれた「交付金」の執行に当たっては、短期的な「成果」を求めるのではなく長期的な予算措置を講じること。

原発に依存せず再生可能エネルギーの飛躍的導入をはかる。温室効果ガスも放射能も排出しないエネルギー基地北海道へ

1. 原子力規制委員会は、規制基準によって原発は安全だとは“保証”していない。よって、泊原発は規制基準のクリア如何にかかわらず、再稼働せずに廃炉とすること。立地自治体等の自立を図る地方財源の確保を求めるとともに、「電源立地地域対策交付金」について、再稼働“後押し”から廃炉推進に改めるよう国に求めること。
2. 青森・大間原発について、「一度立ち止まる」のではなく、キッパリ建設中止を求めること。
3. 高レベル核廃棄物について、幌延も道内の他の地域においても「受け入れない」と明言すること。
4. 再生可能エネルギーの普及・拡大について、種別ごとの年次計画を明らかにし、地産地消・地域循環型で各地の多様な資源の活用を推進すること。グリーンニューディール基金等も活用し、道立学校や道立病院等での再生エネ・省エネ設備の整備を進めること。1村1エネ事業費を拡充し、事業化に結び付くための支援体制を強化すること。
5. 道立施設や道立学校等の電力について、北電以外の「新電力」事業者も参加する競争入札で購入を進めること。